

センター活動報告

平成 26 年度大学 大学教育センター活動報告

1. 組織など

平成 26 年度に大学教育センターとして特別修学支援室を開設し、特別修学支援室長は大学教育センター副センター長が兼務し、専任スタッフも大学教育センターの専任教員が兼務することとした。組織変更後の人員構成は下記のようになった。

センター長：副学長（教育担当理事）

副センター長：大学教育センター（専任教員）、特別修学支援室長兼務

専任教員：3 名（1 名特別修学支援室兼務）

兼務教員：工学研究院 3 名，農学研究院 3 名，教育・学生生活委員会（両学部教育委員長），
入学試験委員会 1 名，学務部長，教育企画課長

また、大学教育センターの運営は、学務部教育企画課と連携して行っている。

2. 活動目標と事業計画

2. 1 目標

平成 26 年度は、次のような目標を立て活動を行った。

(1) 教育改善のための資料収集と分析

授業学習時間の把握や学生の学習到達度に関する調査を行い、アクティブ・ラーニング推進のための提言を行う。

(2) 入試方法の点検・見直しと入試広報の企画及び実施

新学習指導要領に伴う入試に関する資料提供を行うと共に、入学者の質的レベルの維持・向上策を検討する。また、各学部・専攻と連携することより、戦略的な入試広報を推進する。

(3) グローバル化推進のための環境整備

海外大学との交流を推進するため、学期制度や単位互換制度等教育環境の整備を行う。

2. 2 事業計画

上記の目標に対し、次のような事業計画を立て実施した。

(1) 新学習指導要領に伴い全学共通教育改善を行うと共に、アクティブ・ラーニングの推進、グローバル化推進のための提言を行う。

(2) 入試課と連携し、新学習指導要領に対応した入試を実施する。また、キャンパスツアー等の個別の広報活動のみでなく、入試広報活動全体の点検を行い、これまでの施策と分析・検証し、改善策を策定する。第 3 期中期目標・中期計画期間に向けて、優秀な学生の受入れを一層促進するための入試方法・入試広報についての方針を策定し、その基盤となる高大連携体制の充実をはかる。

(3) 学生生活の実態を把握した上で、授業外学修の推進・教育環境の整備を行う。

3. 活動報告

(1) 教育改善のための資料収集と分析

- ・毎学期、授業評価アンケートを実施し、その結果を授業担当者・科目責任者に通知している。また、アンケート結果の分析を大学のサイトに掲載している。

- ・毎学期、シラバスの入力状況を教育・学生生活委員会で報告し、各部局に入力を促した。また、シラバス・チェックを行い、到達目標の記載状況を報告した。
 - ・平成 27 年度以降の初任者研修を改善するために、北海道大学高等教育推進機構を訪問し、北海道大学での研修手法について調査した。その結果、現在、最も大きな課題とされる授業外学習時間の増加とアクティブ・ラーニングについて、シラバスの改善を呼びかけることが最も重要であるというアドバイスを得た。
 - ・学生の学期別履修単位数を調査したところ、初年次に集中した履修状況が明らかとなった。
- (2) 入試方法の点検・見直しと入試広報の企画及び実施
- ・大教センターセミナーなどにより、入試問題作成に向けて数学・理科に関する新学習指導要領に関する講演と討論を実施した。
 - ・5 月・6 月に進路指導教員・理数系教員対象進学説明会を行い、研究室見学、進学・就職状況の説明、入試説明、個別相談を実施した。163 名の高校教員（80%が理数系）が参加した。
 - ・本年度より、高等学校の生徒や保護者の大学見学等を、主に大学教育センター中心に受け入れることとし、のべ 50 校のうち 38 校を大学教育センターが対応、農学部が 10 校、工学部が 2 校に対応した。受け入れた高校生数は 1,392 名であった。また、高校に出向いての大学説明はのべ 30 校、高校生の参加者数は 1,030 名であった。
 - ・多摩地区の都立高校 5 校と国公立大学 6 大学との合同進学連絡会が立ち上がり参加した（5 月 22 日と 12 月 4 日に連絡会に参加）。初年度の合同行事として、10 月 4 日に「都立高校生のための多摩地区国公立合同説明会」が開催され、大学紹介、相談対応等を実施した。
 - ・5 月 27 日に東京農工大学、東京海洋大学、電気通信大学の 3 大学で、岩手県立高校 7 校から進路指導教員との「首都圏国立自然科学系 3 大学懇談会」を開催、参加した。
- (3) グローバル化推進のための環境整備
- ・金子元久筑波大学教授を招き大学教育センターセミナーとして、グローバル教育に関する講演会を実施した。
 - ・授業の英語化促進のために、ブリティッシュ・カウンシルから講師を招き、英語での授業方法に関する教員研修を実施した。
 - ・海外との単位互換に際して必要とされる科目のナンバリングを完成した。現在、大学のウェブ・サイト上に掲載しているが、今後、履修案内にも記載する予定である。
 - ・TOEIC の団体受験が、両学部において定着し、今年度より AIMS プログラムとの関連で、TOEFL の団体受験も開始された。
 - ・4 学期制についての検討を開始した。平成 27 年度より、学期の分割によって、BASE が先行して実施することになった。
- (4) その他
- ・大学教育改革加速プログラム（文部科学省 AP 事業）のテーマⅢ「高大接続」に採択された。これに伴い、高大連携によるグローバル科学技術者入門プログラム（IGS: Introduction to Global Science）の実施を始めた。
 - ・AP 事業に関する情報収集、広報のために、東京都、埼玉、千葉、石川、広島、北海道、福島、三重、徳島、愛媛、熊本、鹿児島など、各都県の高等学校・教育委員会を訪問した。

- ・教育改善の一環として、大学教育センターセミナーを7回実施し、各教育テーマについて、講演会や討論を実施した。
- ・大学教育センター内に特別修学支援室を開設し（7月1日）、副センター長が室長とし、専任教員1名を配置し活動を始めた。また、保健管理センターとの連携のため、連絡会を実施した。
- ・特別修学支援室で、身体にハンディキャップを持つ高校生への入学説明対応及び保険管理センターとの連携による、本学学生の試験監督対応等を実施した。
- ・学部3年生（獣医学科は5年生）の保護者を対象としたペアレンツ・デーを実施し、対象となる学生984名に対し、430名の保護者が出席した。
- ・中村修二教授ノーベル賞受賞記念特別講演会「青色LEDの開発歴史と、青色が照らす地球の未来」に連携する高校の教員及び生徒を招待し、約700人が参加した。

平成26年度大学教育センター活動一覧

月	日	委員会など	学内活動（シンポジウム・セミナーなど）
4	2	役員・評議員・センター長等懇談会	
	7	学生生活紹介冊子WG	
	9		前期TAセミナー（府中：農学府）
	16	入学試験委員会	新任教員研修
	23	教育・学生生活委員会	前期TAセミナー（小金井：工学府・BASE）
	24		①大教センターセミナー：新学習指導要領について
	30	大学教育センター運営委員会	
5	9	教育TF	
	10	学生生活紹介冊子WG	
	12	入試広報小委員会	
	24		I. 進路指導教員・理数系教員対象進学説明会（小金井）
	28	教育TF, 教育・学生生活委員会	
6	4	役員・評議員・センター長等懇談会	
	9	入試広報小委員会	
	20	学外進学相談会事前説明会	
	24	教育TF	
	25	教育・学生生活委員会	
	26		②大教センターセミナー：大学入試状況と本学入試結果
	28		II. 進路指導教員・理数系教員対象進学説明会（府中）
7	1		特別修学支援室開設
	2		③大教センターセミナー：グローバル教育について
	3	大学教育センター運営委員会	
	25	教育TF, 教育・学生生活委員会	
	29	全学共通教育機構運営委員会	

8	5	AP ヒアリング	
9	2	大学教育センター運営委員会	
	9	特別修学支援連絡会	
	16	大学教育ジャーナル編集委員会 入試広報小委員会	
	19		140周年記念式典
	24	教育・学生生活委員会	
10	1	役員・評議員・センター長等懇談会	
	7	大学教育センター運営委員会	
	22	教育・学生生活委員会	
	23		④大教センターセミナー：インドの大学訪問調査
	28	大学教育センター運営委員会	
11	11		IGS プログラム（AP 事業）高大連携協議会
	12		学生系事務職員ための SD 研修
	19	入学試験委員会	
	20		⑤大教センターセミナー：理系の英語教育
	22		ペアレンツ・デー（学部保護者対象）
	26	教育・学生生活委員会	
12	3	役員・評議員・センター長等懇談会	
	10		研究者倫理の講演会（農学部・工学部）
	11	入試広報小委員会	
	17		⑥大教センターセミナー：理系女子について
	24	教育・学生生活委員会	
	25		IGS プログラム（AP 事業）キックオフシンポジウム
1	15	特別修学支援連絡会	
	16		中村修二教授 ノーベル賞記念講演会（府中の森）
	20	入試広報小委員会	
	22		⑦大教センターセミナー：化学オリンピックについて
	28	教育・学生生活委員会	
2	3	大学教育センター運営委員会	
	18	教育・学生生活委員会 入学試験委員会	
3	9	H27 学生生活紹介冊子 WG	
	17		IGS プログラム（AP 事業）高大連携協議会
	25		IGS プログラム（AP 事業） 宿泊研修
	26		IGS プログラム（AP 事業） 宿泊研修
	27		IGS プログラム（AP 事業） 宿泊研修 IGS プログラム（AP 事業） 外部評価委員会

センター専任教員活動報告

1. 氏名

佐藤友久

2. メイン業務, 役職

入試及び入試広報・特別修学支援, 副センター長, 特別修学支援室長, 教授

3. 研究活動

(1) 著書 (単著, 共著, 編著)

- ・実験で理解が深まる「高等学校有機化学実験」
ー教室でできる演示実験と成功する生徒実験, 実験室の整備と運営ー
2014年8月6日発行 (p1~176)
SEED 研究グループ著 東京農工大学 佐藤友久
東京都立青山高等学校 吉田工
千代田区立九段中等教育学校 加藤優太

(2) 論文 (学術論文, その他の雑誌論文等)

・特になし

(3) その他著作物 (報告書・訳書)

・特になし

(4) 学会発表 (国際会議, 国内学会発表)

国際会議

・特になし

国内学会

- ・加藤優太, 吉田工, 佐藤友久 (2014) 「教室で実験しよう 5 演示実験で学ぶ有機化学～芳香族の合成編～」全国理科教育大会 (2014年8月立教大学・立教池袋高等学校)
- (5) 講演等 (FD 講演会, 教授会ミニセミナーなど)
- ・「理数系新学習指導要領について」大学教育センターセミナー, 2014年4月
- ・理数系教員指導力向上研修: 東京都教育委員会との連携 (2014年8月)
 - ①「高校化学: 実験指導の留意点」 (会場: 東京都立青山高等学校)
 - ③「高校化学: 酸化還元に関する指導」 (会場: 東京都立青山高等学校)

4. 教育活動

(1) 学内授業

・前期「化学」農学部

(2) 学外での進学相談会対応

- ・「Benesse 進学フェア 2014」愛知県立体育館, 2014年6月
- ・「主要大学説明会 2014: 東京大学主催」大田区産業プラザ, 2014年8月
- ・「多摩地区国公立大学合同説明会」多摩社会教育センター, 2014年10月
- ・「首都圏国公立大学合同説明会」駿台予校大宮校舎, 2014年12月

(3) 高校での進学相談会対応

八王子高校, 東京電機大学中・高校, 都立国際高校, 川越東高校, 都立富士中・高校, 都立三鷹中等教育, 埼玉県立松山高校, 都立両国中・高校, 埼玉県立川越高校, 都立白鷗中・高校, 都立小石川中等教育, 東大附属中等教育, 都立竹早高校, 錦城高校,

大妻嵐山高校，城北埼玉高校，埼玉県立大宮高校，東京都市大学等々力高校

(4) 高校等の大学見学対応

桜美林高校，茗溪学園，昌平高校，茨城県立下館第一高校，神奈川県立多摩高校，都立小山台高校，都立北園高校，市立浦和中・高校，都立昭和高校，栃木県立栃木高校，山形県立酒田東高校，北海道立藻岩高校，埼玉県立川越女子高校，兵庫県立姫路東高校，長野県立長野西高校，新潟県立高田高校，群馬県立高崎女子高校，芝浦工業大学高校，沖縄県高校グループ，都立武蔵中・高校，伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育，都立武蔵野北高校，

(5) 高校等への訪問・説明等

香川県立丸亀高校，高松市立高松第一高校，都立青山高校，都立八王子東高校，埼玉県立川越高校，埼玉県立川越女子高校，都立科学技術高校，都立小石川中等教育，都立武蔵中・高校，都立多摩科学技術高校，広島市立基町高校，広島学院中・高校，ノートルダム清心中・高校，修道中・高校，広島県教育委員会，徳島県立徳島北高校，徳島県立城北高校，徳島県立富岡中・高校，徳島市立高校，徳島県立城ノ内高校，徳島県立城東高校，徳島県教育委員会，三重県立津高校，三重県立津西高校，高田学苑高田中・高校，三重県立四日市南高校，三重県教育委員会

5. 学内活動（委員等）

- ・全学計画評価委員会 委員
- ・教育，学生生活委員会 委員
- ・入学試験委員会 委員
- ・役員，学内施設長懇談会 委員
- ・入試広報小委員会 委員長
- ・大学教育センター運営委員会 委員
- ・特別修学支援室連絡会 委員
- ・ゼミナール入試委員会（農学部） 委員
- ・工学府，工学部入学試験企画委員会 委員
- ・工学府，工学部広報戦略委員会 委員
- ・工学部教授会 オブザーバー
- ・入試制度研究委員会（農学部） オブザーバー

6. 社会活動（学会等）

- ・東京都科学教育振興委員会 委員長
- ・日本学生科学賞東京都審査委員会 委員長
- ・東京都立富士中・高等学校 学校運営連絡協議会委員

7. 獲得研究費など

- ・特になし

8. その他（他大学非常勤講師など）

- ・特になし

1. 吉永 契一郎

2. 高等教育研究, 准教授

3. 研究活動

(1) 著書 (単著, 共著, 編著)

吉永契一郎・堀井祐介・中島英博 (2014) 「ユニバーサル段階におけるヨーロッパの学部専門教育の変容」科学研究費補助金成果報告書, 99 頁.

(2) 論文 (学術論文, その他の雑誌論文等)

吉永契一郎 (2014) "The Changing Conditions of Faculty Associations in Canada" 『大学論集』, 第 45 集, 159-173 頁.

吉永契一郎 (2014) 「米国における大学教授職の形成」科学研究費補助金成果報告書, 179-192 頁.

(3) その他著作物 (報告書・訳書)

吉永契一郎他 (2014) 「教養教育の本流」, 『大学教育学会誌』, 第 36 巻, 第 2 号, 65-69 頁.

(4) 学会発表

吉永契一郎「教養教育の日米比較考察」, 2014 年 5 月, 大学教育学会.

吉永契一郎・堀井祐介「ドイツの大学教授法センターの現状と課題」, 2014 年 6 月, 日本高等教育学会.

Keiichiro Yoshinaga "A Discussion on the Migration of Graduate Students in Asia"

Oct. 2014, Higher Education Research Association, Seoul National University.

(5) 講演等 (FD 講演会, 教授会ミニセミナーなど)

吉永契一郎「理工系大学における高度教養教育への視座」2014 年 3 月, 京都三大学教養教育研究推進機構公開研究会

吉永契一郎「TA の役割」2014 年 4 月, 農学府 TA セミナー

吉永契一郎「インド大学訪問調査報告」2014 年 10 月, 大学教育センター・マンスリー・セミナー

4. 教育活動

農学部後期人文社会科目「多文化共生論」

5. 学内活動 (委員等)

教育・学生生活委員

大学情報委員会委員

大学教育センター運営委員会委員

高大連携協議会委員

農学部・農学府教育委員会オブザーバー

農学部・農学府教授会オブザーバー

AIMS 運営委員会オブザーバー

教育部会オブザーバー

6. 社会活動（学会等）

大学教育学会理事
大学教育学会・学会誌編集委員

7. 獲得研究費

科学研究費補助金 基盤研究（B）「アジア・太平洋地域における大学院生の移動と『準中心国』大学院のニッチ戦略」（研究代表者）（2014年～2017年）

8. その他（他大学非常勤講師など）

なし

1. 氏名

藤井 恒人

2. メイン業務, 役職

入試広報, 准教授

3. 研究活動

(1) 著書(単著, 共著, 編著)

・特になし

(2) 論文(学術論文, その他の雑誌論文等)

・特になし

(3) その他著作物(報告書・訳書)

・「SRI研修の参加学生への学習効果－研修10か月後の受講生インタビュー調査からの考察－」
『大学教育ジャーナル』, 第11号, 24-34頁.

(4) 学会発表(国際会議, 国内学会発表)

国際会議

・特になし

国内会議

・特になし

(5) 講演等(FD 講演会, 教授会ミニセミナーなど)

・「データから見る本学学生の状況」平成26年度新任教職員研修会, 2014年4月

・「東京農工大学の入試, 学習・教育, 進学・就職状況」進路指導教員・理数系教員対象 第1回進学説明会,
2014年5月

・「東京農工大学の入試, 学習・教育, 進学・就職状況」進路指導教員・理数系教員対象 第2回進学説明会,
2014年6月

・「2014年度入試の概況と農工大の入試結果」大学教育センターマンスリーセミナー, 2014年6月

・「東京農工大学の入試, 学習・教育, 進学・就職状況」首都圏国立自然科学系3大学懇談会 岩手県高校連絡
会 2014年5月

4. 教育活動

・学外進学相談会

「大学進学相談会2014」京葉銀行文化プラザ, 2014年6月

「獣医系大学フェア2014」レゾラ夢天神ホール, 2014年6月
「全国国公立・有名私大相談会 in 名古屋」名古屋国際会議場, 2014年7月
「全国国公立・有名私大相談会 in 大阪」大阪国際会議場, 2014年7月
「全国国公立・有名私大相談会 in 横浜」パシフィコ横浜国際会議場, 2014年7月
「大学進学フェスタ 2014」パシフィコ横浜国際会議場, 2014年9月
「大学別入試説明会」代々木ゼミナール新宿校, 2014年10月
「多摩地区国公立大学説明会」東京都多摩教育センター, 2014年10月
「首都圏国公立大学合同説明会」駿台予備校あざみ野校, 2014年10月
「首都圏国公立大学合同説明会」駿台予備校町田校, 2014年10月
「秋季大学入試ガイダンス」河合塾新宿校, 2014年11月
「首都圏国公立大学合同説明会」駿台予備校津田沼校, 2014年11月
「首都圏国公立大学合同説明会」長野予備学校, 2014年11月
「首都圏国公立大学合同説明会」駿台予備校横浜校, 2014年11月
「首都圏国公立大学合同説明会」駿台予備校立川校, 2014年11月

・高校内進学相談会

横浜サイエンスフロンティア高校, 錦城高校, 神奈川総合産業高校, 東京電機大高校, 青稜高校, 相模原高校, 桐朋女子高校, 鎌倉高校, 順天高校, 大磯高校, 拓殖大第一高校, 大宮開成高校, 東京農大第二高校, 日大二高,

・日本語学校大学説明会

フジ国際学院, 早稲田文化館

・高校見学訪問対応

多摩高校保護者会, 日野台高校, 栃木高校, 尾道北高校, 盛岡中央高校, 高崎女子高校, 下田高校, 横浜翠嵐高校, 富士高校, 沖縄県教育委員会, 桐生高校, 甲府第一高校, 甲陵高校, 都留高校, 武蔵野北高校, 宮崎南高校,

・学部説明会(工学部)進学相談対応

5. 学内活動(委員等)

- ・教育・学生生活委員会 委員
- ・入学試験委員会 オブザーバー
- ・入試広報小委員会 委員
- ・工学府・工学部広報戦略委員会 委員
- ・工学府・工学部入学試験・企画委員会 委員
- ・農学部教授会 オブザーバー
- ・入試広報検討ワーキング 委員
- ・外国人留学生対策ワーキング 委員
- ・教育企画タスクフォース 委員
- ・大学教育ジャーナル編集委員長

6. 社会活動(学会等)

- ・博士人材データベースのパイロット運用に関する協議会(文部科学省) 委員
- ・「大学教育研究センター等協議会」琉球大学2014年9月

7. 獲得研究費

- ・特になし

8. その他

- ・「平成26年度『大学教育再生加速プログラム』テーマⅢ高大接続」プログラム実施副担当
- ・「TUAT Express 2014-2015」(保護者向け広報誌)制作担当

センター運営委員会議題

平成 26 年度大学教育センター運営委員会議題

第 26-1 回大学教育センター運営委員会議事要旨（案）

1. 日 時 平成 26 年 4 月 30 日（水） 13:00 ～ 14:30
2. 場 所 学生系事務棟 A会議室
3. 出席者 国見センター長、佐藤副センター長、吉永、加藤、藤井、下村、三沢、中村、蓮見、下田、亀田、金勝、今井の各委員
(陪席者) 小宮教育企画係長
4. 議 題
 - 1) 議事要旨の確認
第 25-2 回大学教育センター運営委員会議事要旨の確認について
第 25-2 回運営委員会の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。
 - 2) 審議事項
 - (1) 平成 26 年度センター組織について（資料 2-1, 2-2）
資料 2-1 に基づき、運営委員会のメンバーを確認した。引き続き資料 2-2 に基づき、国見委員長から運営規則について説明があった。兼務教員は農学研究院・工学研究院から各 3 名選出・任期 2 年となっているが、今後の兼務教員の選出方法について、教育・学生生活委員会との関連性も含めて検討することとした。
 - (2) 平成 26 年度センター運営方針について（資料 3-1～3-3）
佐藤副センター長から、資料 3-1～3-3 に基づき、H25 大教センターの事業計画の概要、兼務教員の協力体制について説明があり、審議の結果、兼務教員の役割分担(AD, FD, PG)については、昨年と同様の体制で協力いただくこととした。
 - (3) 大学教育ジャーナル編集委員会について（資料 4-1, 4-2）
国見委員長から、資料 4-1～4-2 に基づき、大学教育ジャーナル編集委員会の申し合わせ及び委員構成について説明があった。昨年度同様に藤井委員を委員長とし、兼務教員からは蓮見委員、三沢委員、西藤委員に協力いただくこととした。
 - (4) 平成 26 年度ペアレンツ・デー（案）について（資料 5）
佐藤副センター長から、資料 5 に基づき平成 26 年度ペアレンツ・デー（案）について下記の通り概要説明があった。
 - ・昨年度のペアレンツ・デーWGにおいて、全体会から各学部で行う案も検討したが、工学部で全体会を一会場で実施する施設がなく、仮に体育館に機材等を持ち込んで実施すると追加の予算が発生することや、昨年度のペアレンツ・デーではバスの移動等もスムーズに行き、プログラム内容の充実が図れたことで参加者からの満足度がさらに向上したこと等から、平成 26 年度も現行通り全体会をルミエール府中、午後の分科会を各学部で実施する。
 - ・全大会における OB・OG 講演者の選出、午後の分科会の開始時間、プログラム内容については、各学部に検討を依頼している。
 - (5) 大教センター予算について（資料 6）
事務から大教センター関係予算の平成 25 年度執行状況及び、平成 26 年度の予算について報告した。平成 26 年度新規予算として、FD・シンポジウム運営経費を計上することについて審議し、了承された。
 - (6) 大教センター特別修学支援室の設置について（資料 7-1～7-2）
今井委員から、資料 7-1～7-2 に基づき大教センター特別修学支援室の設置概要について説明があり、審議の結果設置が了承された。

3) 報告事項

- (1) 平成 26 年度「進路指導教員・理数系教員対象進学説明会」について（資料 8）
佐藤副センター長から、資料 8 に基づき平成 26 年度「進路指導教員・理数系教員対象進学説明会」について報告があった。
- (2) 平成 26 年度前期 T A セミナーについて（資料 9）
加藤委員から、資料 9 に基づき平成 26 年度前期 T A セミナーの実施状況について報告があった。
- (3) 平成 26 年度新任教職員研修会プログラム（資料 10）
加藤委員から、資料 10 に基づき、平成 26 年度新任教職員研修会プログラムの実施状況について報告があった。参加者が 52 名と例年に比べて大幅に増えたことと、今年度から、本プログラムは大教センターと人事労務課との共催で実施した旨の説明があった。
- (4) グローバルサイエンスキャンパスの申請について（資料 11）
佐藤副センター長から、グローバルサイエンスキャンパスの申請状況について報告があった。採択された際には、兼務教員への協力を依頼した。
- (5) 大学教育再生加速プログラム事業概要について（資料 12）
佐藤副センター長から、大学教育再生加速プログラム事業概要について報告があった。

第 26-2 回大学教育センター運営委員会議事要旨（案）

1. 日 時 平成 26 年 7 月 3 日（水） 15 : 30 ~ 16 : 25
2. 場 所 学生系事務棟 A 会議室
3. 出席者 國見センター長、佐藤副センター長、吉永、加藤、藤井、中村、下村、下田、西藤、亀田、金勝、村田、今井の各委員
(陪席者) 南教育企画係長

審議事項

1) 議事要旨の確認

第 26-1 回大学教育センター運営委員会議事要旨の確認について
第 26-1 回運営委員会の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

2) 大学教育センター特別修学支援室担当教員の選出等について

國見委員長から前回の大学教育センター運営委員会において既に合意されている大学教育センター特別修学支援室規程（資料 2-1）、特別修学支援室の体制図（資料 2-2）について説明があった。

引き続き、國見委員長から資料 2-3 に基づき、特別修学支援室名簿について説明があり、佐藤副センター長を支援室長に、加藤准教授を専任教員に、南係長を専任職員に、今井課長・古川氏を兼務職員とすることを承認した。併せて、資料 2-4 に基づき、特別修学支援連絡会委員名簿について説明があり、選出委員について承認した。

なお、國見委員長から、特別修学支援室は 7 月 1 日に遡及して設置される旨の説明があり、これを承認した。

今井委員から、大学教育センター特別修学支援室規程（資料 2-1）の字句訂正についての補足説明があり、これを確認した。

3) マンスリーセミナーにおける兼務教員の協力について

吉永委員から、資料 3-1 及び資料 3-2 に基づき、兼務教員にマンスリーセミナーのトピック提供について依頼があり、これを承認した。

(4) その他

特になし

報告事項

- 1) 特別修学支援室HPの掲載内容について
今井委員から、資料4に基づき、特別修学支援室の本学HP掲載案について報告があった。
- 2) 平成26年度大学教育研究センター等協議会の開催について
今井委員から、資料5に基づき、平成26年度大学教育研究センター等協議会の開催について報告があった。併せて、承合事項に対する本学の回答は「⑤新任教員研修」とする旨の報告があった。
- 3) グローバルサイエンスキャンパスの採択結果について
國見委員長から、グローバルサイエンスキャンパスについて採択されなかった旨の報告があった。
- 4) 福岡・北九州市高等学校訪問報告について
藤井委員から、資料6に基づき、訪問高校の生徒の理工系大学選択イメージ、本学のイメージ、九州大学と同レベルの学力である本学を受験するメリットがない等、訪問高校の印象などについて報告があった。
- 5) FDセミナー「英語で講義を行うための手法・スキル講座」について
加藤委員から、資料7-1及び7-2に基づき、英語で講義を行うためのFDセミナーの開催について報告があった。
- 6) 博士人材データベースの構築について
國見委員長から資料8-1～8-2に基づき文部科学省 科学技術・学術政策研究所が構築を予定している博士人材データベースに、本学がパイロット参加する旨を報告があった。
また、パイロット運用あたって協議会に出席する教員として、藤井委員を選出した。
- 7) その他
 - 1) 特別修学支援室の具体的な支援体制についての質問があり、各学部等で既に実施している支援体制、保健管理センターで実施しているカウンセリングなどの代わりとなるものではなく、障がいなどを抱える学生に対して修学支援を中心に実施していく部署であることが確認された。今後、保健管理センターとの業務のすみ分け・連携等について、整理していくこととした。

第26-3回大学教育センター運営委員会議事要旨（案）

1. 日 時 平成26年9月2日（火） 13:30～14:10
2. 場 所 学生系事務棟 A会議室
3. 出席者 國見センター長、佐藤副センター長、吉永、加藤、三沢、中村、下村、下田、西藤、亀田、金勝、村田、今井の各委員
(陪席者) 南教育企画係長

審議事項

- 1) 議事要旨の確認
第26-2回大学教育センター運営委員会議事要旨の確認について
第26-2回運営委員会の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。
- 2) 大学教育再生加速プログラム（AP事業）について（資料2-1、資料2-2）
國見委員長から、資料2-2に基づき、大学教育再生加速プログラムが採択された旨の説明があった。

続いて、佐藤委員から、資料2-1に基づき、事業概要として「養成する人材像の共有」、「IGSプログラムの導入」、「入学前プログラム」、「初年次教育プログラム」、「実施体制・高大連携協議会」について説明があった。

また、國見委員長から、資料2-1に基づき、「IGSプログラムの導入」、「入学前教育プログラム」の補足説明があった。

3) AP事業担当教員（特任助教）の採用について（資料3-1、資料3-2、資料3-3）

國見委員長から、資料3-2に選考委員会の構成メンバーについて説明の後、資料3-1に基づき教員選考委員会を設置してもよろしいか諮り、これを承認した。

続いて、佐藤委員から、資料3-3に基づき、公募要領について説明があった。

なお、國見委員長から、スーパーグローバルが採択された場合は、AP事業について辞退することとなるため、公募も無しとなる旨の説明があった。

また、今井課長から、公募要領について適任の方がいたら推薦いただきたい旨及び本委員会後に、第1回の教員選考委員会を開催する旨の説明があった。

報告事項

1) 特別修学支援室の活動状況等について（資料4-1、資料4-2、資料4-3）

今井委員から、資料4-1、資料4-2及び資料4-3に基づき、工学部生命工学科の講義で使用している建物及び教室の現況確認を行った旨の説明があった。

続いて、南教育企画係長から、現在の高校でサポートしている内容と同程度の内容を本学でもサポートしてもらえるとと思っている可能性が高い旨の説明があった。

なお、この件に関する問題点等については9月9日（火）開催の特別修学支援室連絡会で議論していくこととした。

第26-4回大学教育センター運営委員会議事要旨（案）

1. 日 時 平成26年10月7日（火） 13:15～14:10

2. 場 所 学生系事務棟 B会議室

3. 出席者 國見センター長、佐藤副センター長、吉永、加藤、藤井、三沢、中村、下村、蓮見、亀田、金勝、村田、今井の各委員
(陪席者) 南教育企画係長

審議事項

1) 議事要旨の確認

第26-3回大学教育センター運営委員会議事要旨の確認について

第26-3回運営委員会の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

2) 大学教育センター特任教員（特別修学支援室）の採用について

(資料2-1、資料2-2、資料2-3、資料2-4)

國見委員長から、この教員ポストを雇用することが役員会で承認された旨の説明があった。

引続き、今井委員から資料2-2に選考委員会の構成メンバーについて説明の後、資料2-1に基づき教員選考委員会を設置してもよろしいか諮り、これを承認した。

また、今井委員から、資料2-4に基づき、今後のスケジュールについて説明があった。なお、雇用形態等について人事労務課と調整中であるため、スケジュールよりも遅れる可能性がある旨及び本委員会後に、第1回の教員選考委員会を開催する旨の説明があった。

続いて、國見委員長から、資料2-3について公募要領について説明があり、これを承認した。

3) 第2期中期目標・中期計画に係るロードマップについて（資料3）

國見委員長から、資料3に基づき、大学教育センターのロードマップの訂正を行い、全学計画評価委員長に提出した旨の説明があった。既にメール委員会で承認されている案件であり、これ

を追認した。

4) 平成26年度第3回マンスリーセミナーについて(資料4)

吉永委員から、資料4に基づき、インドの大学訪問調査報告について説明があり、これを題材にマンスリーセミナーを開催したい旨の説明があり、これを承認した。

5) グローバル化に関する調査について(資料5)

吉永委員から席上配布資料に基づき、グローバル化に関する調査について説明の後、この調査を行うことについて諮り、これを承認した。

なお、アンケートについて改正がある場合は、吉永委員に直接連絡いただくこと及びアンケートの最終案についてメールにて運営委員に照会し確認を取ることとした。

6) 大学教育再生加速プログラム(A P事業)の運営について(席上配布資料)

今井委員から、席上配布資料に基づき、「高大連携協議会の運営に関する要項」及び、外部委員候補者について説明があり、「高大連携協議会の運営に関する要項」については、原案どおり了承された。また、外部委員候補者については、「私立高校教員を含める必要がある。」との意見があり、佐藤委員が検討することとした。

なお、これに関して意見等があれば10月16日(木)までに教育企画課に連絡いただくこととした。

7) その他

特になし

報告事項

1) 平成26年度全国大学教育研究センター等協議会について(資料6)

藤井委員及び今井委員から資料6に基づき、9月18日～9月19日に琉球大学で開催された協議会についての報告があった。特に、学習成果のアセスメント及びグローバル人材育成について説明があった。

2) 筑波大学障害学生支援室について(資料7)

佐藤委員から、資料7に基づき、筑波大学障害学生支援室の現地調査について、報告があった。特に、サポート体制の範囲、ピアチュータの採用の仕組み及び大学として出来ない支援(生活支援等)については出来ない旨伝えた方が良いなどの説明があった。

3) 大学教育再生加速プログラム(A P事業)特任教員の公募要領について(資料8)

今井委員から、資料8に基づき、現在の公募要領の周知状況についての説明及び候補者がいる場合は周知いただきたい旨の依頼があった。

4) その他

特になし

第26-5回大学教育センター運営委員会議事要旨(案)

1. 日 時 平成26年10月28日(火) 15:00～16:00

2. 場 所 学生系事務棟 B会議室

3. 出席者 國見センター長、佐藤副センター長、吉永、加藤、藤井、下村、下田、金勝、村田、今井の各委員

(陪席者) 南教育企画係長

審議事項

1) 議事要旨の確認

第26-4回大学教育センター運営委員会議事要旨の確認について
第26-4回運営委員会の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

2) 大学教育センター専任教員の割愛依頼について

國見委員長から、資料2に基づき、名古屋外国語大学から加藤准教授の割愛について依頼があった旨の説明があり、これを承認した。

3) 大学教育センター専任教員の採用について

(資料3-1, 資料3-2, 資料3-3, 資料3-4)

國見委員長から、資料3-2に基づき選考委員の構成メンバーについて及び資料3-1に基づき、農学研究院の兼務教員である下田委員、農学部教育委員長である金勝委員、工学研究院の三沢委員を追加したい旨の説明の後、教員選考委員会を設置してもよろしいか諮り、これを承認した。

引き続き、國見委員長から、資料3-3に基づき、公募要領について説明があり、検討の結果「グローバル人材」の前に「理系」を入れること及び「共通教育及び基礎科目の授業を担当できる者」などの条件を付けることとした。

なお、上記の訂正を行った公募要領をメールで配信することとした。

また、今井委員から、資料3-4に基づき、今後のスケジュールについて説明があり、面接・プレゼンテーションについては、1月25日（日）とすることとした。

4) 高大連携協議会委員等の選出について（資料4-1, 資料4-2）

今井委員から資料4-1に基づいて、「グローバル科学技術人材養成プログラムの運営に関する要項」について、前回の大学教育センター運営委員会の後に第2条のプログラム責任者、第14条の外部評価委員について追加した旨及び資料4-2に基づいて、高大連携協議会委員等について選出を行った旨の説明があり、これを承認した。

5) 学部教育のグローバル化に関するアンケートについて（資料5）

吉永委員から、資料5に基づき、学部教育のグローバル化に関するアンケートについて説明があり、これを承認した。

また、ジャーナル誌を執筆するためのアンケートであるため国際交流委員会には議題付議しないこととした。

6) その他

特になし

報告事項

1) 大学教育研究センター特任教員の選考状況について（回収資料）

國見委員長から、回収資料に基づき、特任教員の応募状況及び面接予定者について説明があった。

2) その他

特になし

第26-6回大学教育センター運営委員会議事要旨（案）

1. 日 時 平成26年2月3日（火） 10:30～10:55

2. 場 所 学生系事務棟3階C会議室

3. 出席者 國見センター長、佐藤副センター長、吉永、加藤、藤井、中村、下村、蓮見、下田、西藤、金勝、村田、今井の各委員

（陪席者）南教育企画係長

審議事項

1) 議事要旨の確認

第 26-5 回大学教育センター運営委員会議事要旨の確認について
第 26-5 回運営委員会の議事要旨（案）について、原案のとおり承認した。

2) 大学教育センター専任教員の採用について（資料 2-1（回収資料）、2-2）

國見委員長から、資料 2-1 及び 2-2 に基づき説明があり、最終候補者を 2 月 18 日（水）開催の教育研究評議会に議題附議したい旨の説明があり、これを承認した。

3) 大学教育センター（特別修学支援室）教員の採用について（資料 3-1（回収資料）、3-2）

國見委員長から、資料 3-1 及び 3-2 に基づき説明があり、最終候補者を 2 月 18 日（水）開催の教育研究評議会に議題附議したい旨の説明があり、これを承認した。

なお、採用が承認された場合は、保健管理センター教員の後席を補充する旨の説明があった。

4) 大学教育センター運営規則の改正について（資料 4）

南教育企画係長から、資料 4 に基づき説明があり、理事名称及び兼務教員を 3 名から 2 名としたい旨の説明があり、これを承認した。

なお、蓮見委員から教育担当の教育研究評議員を選出した方が良いのではとの意見があり、國見センター長から農工の研究院長に説明することとした。

5) 兼務教員の選出について（資料 5-1、5-2、5-3）

國見委員長から、現在の兼務教員の任期が 3 月 31 日に満了する旨の説明の後、資料 5-1～5-3 に基づき、農学部長及び工学部長に各 2 名を選出したい旨の説明があり、これを承認した。

6) その他

特になし

報告事項

1) その他

特になし

平成 26 年度大学教育センター運営委員会構成員

●センター長・専任教員

國見 裕久（センター長・理事（教育担当）・副学長）

佐藤 友久（副センター長・入学試験委員会・専任教員・大学教育センター教授）

吉永 契一郎（専任教員・准教授）

加藤 由香里（専任教員・准教授）

藤井 恒人（専任教員・准教授）

●兼務教員

三沢 和彦（工学研究院・教授）

中村 暢文（工学研究院・教授）

下村 武史（工学研究院・教授）

蓮見 恵司（農学研究院・教授）

下田 政博（農学研究院・准教授）

西藤 公司（農学研究院・准教授）

●教育・学生生活委員会

亀田 正治（工学研究院・教授）

金勝 一樹（農学研究院・教授）

●事務スタッフ

村田 昇一（学務部長）

今井 賢（学務部教育企画課長）

編集方針・投稿規程
教育データの扱いに関する指針

編集方針・投稿規程

編集方針

大学教育についての、調査・研究・実践を全学で共有化し、教育改善を進めるための教育論文・報告・提言を掲載する。特に、東京農工大学における、具体的な課題の解決に向けた取り組みを重視する。また、大学教育センターの年間活動履歴も掲載する。

投稿規程

- ・発行は、年1回、3月とする。
- ・投稿資格は、東京農工大学教職員、学外者の場合は、原稿依頼者とする。
- ・編集委員会は、大学教育センター運営委員から選出する。
- ・毎年、10月に、投稿希望者を全学から募集すると同時に、編集会議を開く。
- ・投稿は、編集委員または編集委員会が推薦する者による査読を経た上で、掲載する。

教育データの扱いに関する指針

『大学教育ジャーナル』は、教育に関する知見を共有するために、自由で開かれた議論を原則としています。同時に、その公共性や個人情報・著作権保護も考慮し、アンケートや学務データ、画像の使用、出版物からの引用については、以下の指針を守って下さい。

- ・アンケートやインタビュー等による個人情報に関わるデータの収集については、収集目的や活用方法について対象者の同意を得た上で、公表に際して研究倫理委員会の了解を得る。
- ・個人が特定されない学務データ（成績分布・利用者数・単位取得率・卒業率・志願者数・評価結果・就職先等）については、関連する部局の了解を得る。
- ・教育データの利用に関して、提供者から了解が得られた場合でも、大学及び大学関係者の利害について配慮する。
- ・写真を掲載する場合には、個人が特定できないものを使用する。もしくは、被写体に了解が得られた場合のみ、掲載する。
- ・著作権保護の観点から、テキスト等に使用されている図・グラフをそのままの形で掲載しない。
- ・既存の研究からの引用・借用である場合には、本文・注等において、その旨を明記し、参考文献に記載する。

『大学教育ジャーナル』は編集委員による査読体制を取っており、編集時に、教育データの扱いに関して適切な手続きが取られたかどうか、肖像権、著作権、大学の出版物として適当な内容であるかどうかを確認しています。

大学教育ジャーナル編集委員会委員

編集委員長 : 藤井 恒人 (専任教員・大学教育センター准教授)
編集委員 : 佐藤 友久 (副センター長・大学教育センター教授)
 : 吉永契一郎 (専任教員・大学教育センター准教授)
 : 加藤由香里 (専任教員・大学教育センター准教授)
 : 蓮見 恵司 (農学研究院教授)
 : 西藤 公司 (農学研究院准教授)
 : 三沢 和彦 (工学研究院教授)
 : 今井 賢 (教育企画課課長)
 : 南 直樹 (教育企画課係長)

東京農工大学 大学教育ジャーナル 第 11 号

2015 年 3 月

発行 東京農工大学 大学教育センター

編集 大学教育ジャーナル編集委員会